

別紙A

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立大矢知興讓小学校

校長 坂下 亮介

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

本校では、学校づくりビジョンに「主体的に活動する興讓っ子の育成」を掲げ、学校・家庭・地域が協働して、興讓の意義を受けつぐ“保護者・地域とともに育つ学校”～保護者・地域に信頼される学校～を目指した取り組みを推進している。

学校運営協議会で協議・提言された具体的な内容について、学校運営に反映させるよう努めている。学校運営を多面的な切り口で具現化を図っていくため、今年度は興讓協議会の構成委員の見直しを図り、保護者の枠を広げ委員に加えた。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

【地域の名所巡りと体験学習】

◇地元にある久留倍官衙遺跡は、奈良時代にあった役所跡と考えられ、国の史跡に指定されている。今年度も6年生が「くるべ古代歴史公園」や「くるべ古代歴史館」を見学し、地元の歴史に触れることができた。見学を通して学んだことを「くるべ古代歴史公園」を紹介するポスターとしてまとめ、館内に掲示してもら



うことができた。さらに、一連の学習として、「くるべ古代歴史館」の方から「勾玉づくり」を体験させていただき、学習を深めることができた。

興讓協議会（学校運営協議会）委員からは、このような地元にある名所・旧跡を積極的に学習に活かしてほしいという声をいただいた。来年度以降も6年生の歴史学習の一環として位置づけていきたいと考える。

【地域の田んぼで米づくり】

◇5年生の「米づくり体験」学習では、地域の農業経営者の方にご協力いただき、田植え体験を実施することができた（コロナの影響により、稲刈りは中止せざるを得なかった）。最後は地域の方に収穫していただいたお米をおにぎりとして食し、一連の「米づくり体験」を締めくくることができた。地域と協働した学習活動として、今後も継続していきたいと考える。

【地域の方による学習支援】

◇職員のニーズに応じて、学校支援ボランティア登録者の中から、裁縫（ミシン）と野菜づくりの学習支援をしていただいた。裁縫では、初めてミシンに触れる5年生に対して操作の基礎を丁寧にサポートしていただき、野菜づくりでは、畑づくりから日常の手入れの仕方まで、4年生の児童に丁寧に指導していただいた。



【地域の読み聞かせ団体の読書活動支援】

◇読書活動の推進に重点をおいている本校において、外部団体を招聘した読み聞かせにも力を入れている。今年度も毎週水曜日の朝の時間に、1年生を対象に「読みい〜夢」による読み聞かせをしていただいた。また、語り聞かせ団体「どっこいしょ」についても、月曜日の朝の時間に1年間をかけて全学年において実施していただき、児童の読書イメージを高めることができた。



【保護者による図書修繕支援】

◇毎週火曜日に図書館司書の協力のもと、学校支援ボランティア（保護者）による本の修繕作業をしていただいた。大規模校である本校では、人気のある本がすぐに傷んでしまうという長年の課題があった。そこで、学校支援ボランティアの保護者に声をかけ、毎週決まった時間帯を作業時間として設定し、都合に合わせて自由に来校いただく体制をとり、毎回4〜5名の方に参加いただき、その結果、修繕が必要な図書を大幅に減らすことができた。今年度の学校支援ボランティア活動の代表的な成功例となり、興譲協議会委員からも高い評価をいただいた。来年度以降も継続していきたい取組と考える。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取り組みによる効果

本年度も、数多くの保護者・地域の皆様から、安全面での見守り活動や、学習活動、特別活動などのご支援をいただいた。今年度の学校支援ボランティアへ登録をいただいた中には、新たにICTの専門的な知識をもった方もみえて、ZOOMによるオンライン授業が円滑に行えるようアドバイスをいただいた。登録分野の広がりや、本校の学校支援ボランティア活動の浸透を意味するものであり、活動が軌道に乗ってきたと考える。コロナ禍でありながら、昨年度同様に、年間延べ200名以上の皆様にご支援いただいたことは大きな成果として挙げられる。

また今年度は、校舎の増築工事・改修工事に伴い、敷地の一角にある地域の所有物である「興譲館」が解体され、館内の展示品等が校舎内に移設され、「興譲コーナー」として生まれ変わった。地域の思いを受け継ぎ、今後は校舎内に移設された展示品等を“身近に感じられる興譲”として学習活動に活かしていきたいと考える。

学校・家庭・地域をつなぐ重要な組織として、本校の興譲協議会の役割が一層明確になり、児童が「ふるさと大矢知」に愛着と誇りをもって学ぶ環境が整ってきたといえる。

3 今後に向けて

本校の学校運営協議会「興譲協議会」では、日常的な児童の姿を検証し、また学校運営の課題を明らかにしながら、その解決に向けた学校中枢の協議組織として、今後も学校・家庭・地域の協働を力強く推進していきたいと考える。そのためには、協議会で承認いただく学校づくりビジョンの実現に向けて、具体的な取組内容と成果指標を示しながら、その目標の進行管理を丁寧に行っていく必要がある。また今年度は、初めての試みとして、小中連携の視点から「中学校区拡大学校運営協議会」を開催した。委員からは好評を得ることができたので、来年度も継続して開催し、小中連携強化に努めていきたいと考える。